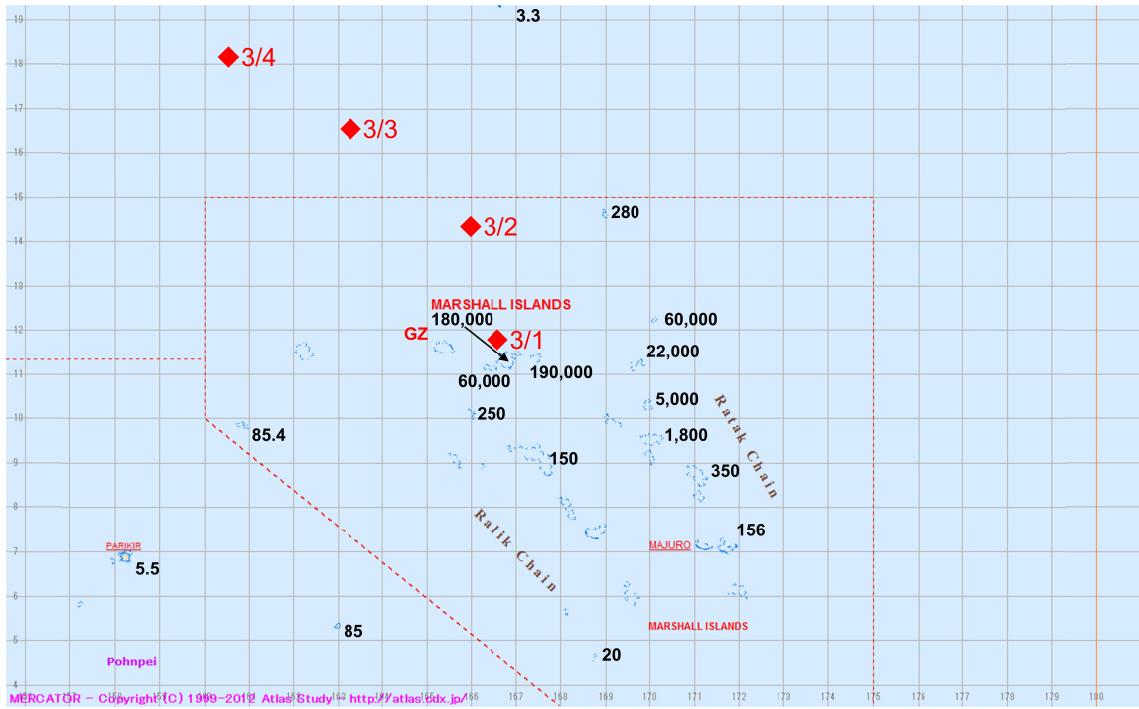
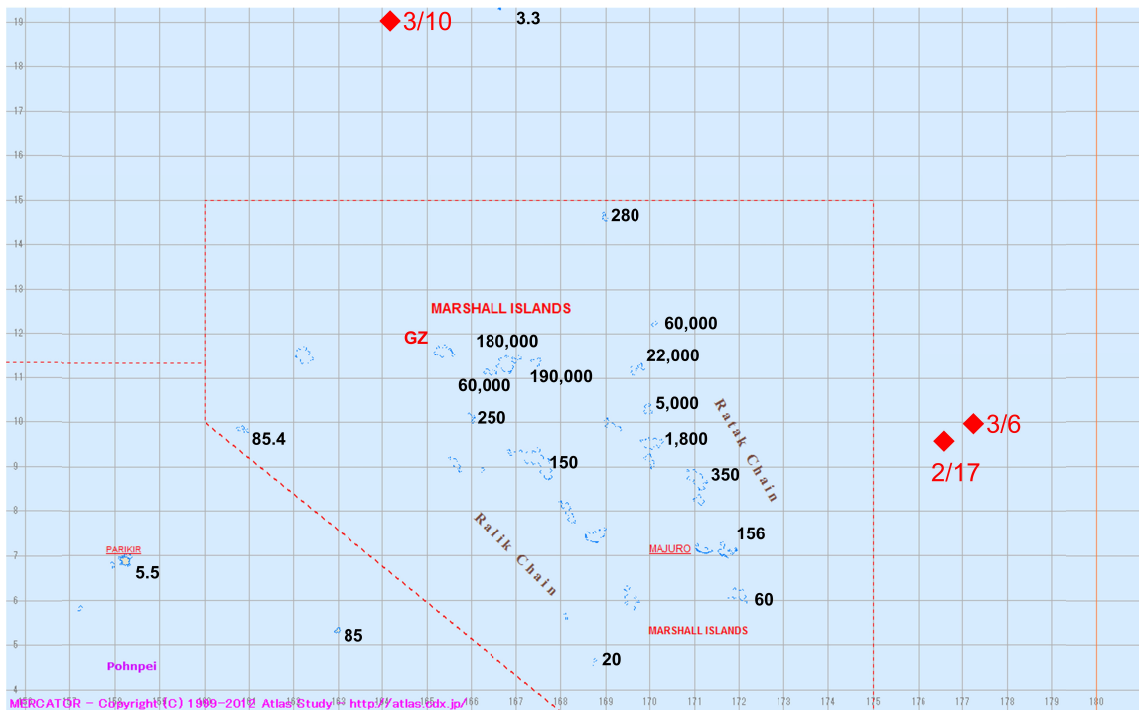


図4  $^{137}\text{Cs}$  沈着密度に基づく計算 (1式) によるピカール環礁及びウチリック環礁の線量率と航空機モニタリングによる線量率 ( ) の比較

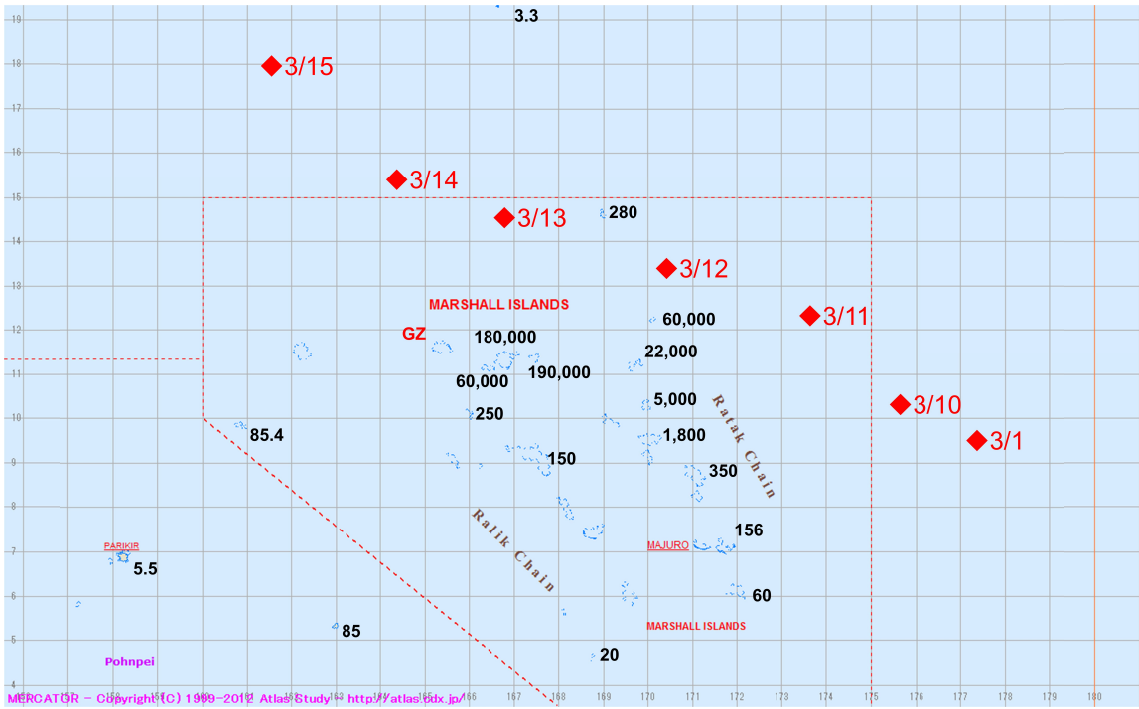


(a) 第五福竜丸

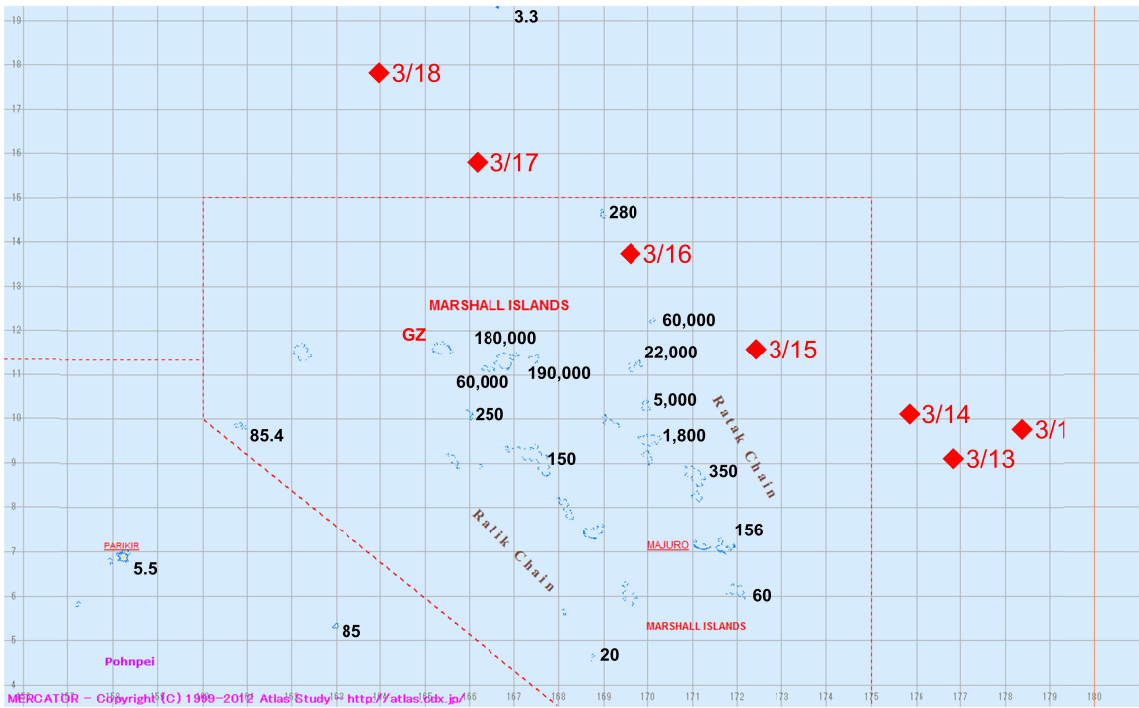


(b) 第十二高知丸

図5 プラボー実験時における代表的な漁船の航路  
( 図中の数値は航空機モニタリングによる代表的環礁の線量 (mR), 表2から )

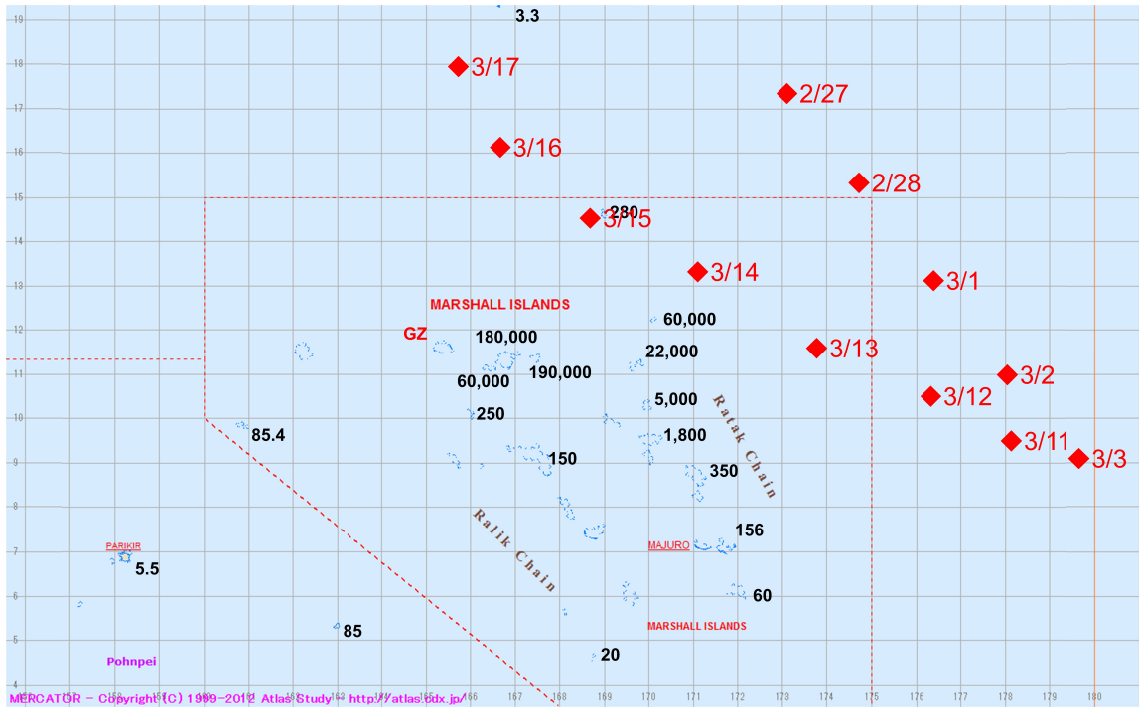


(c) 第五明神丸

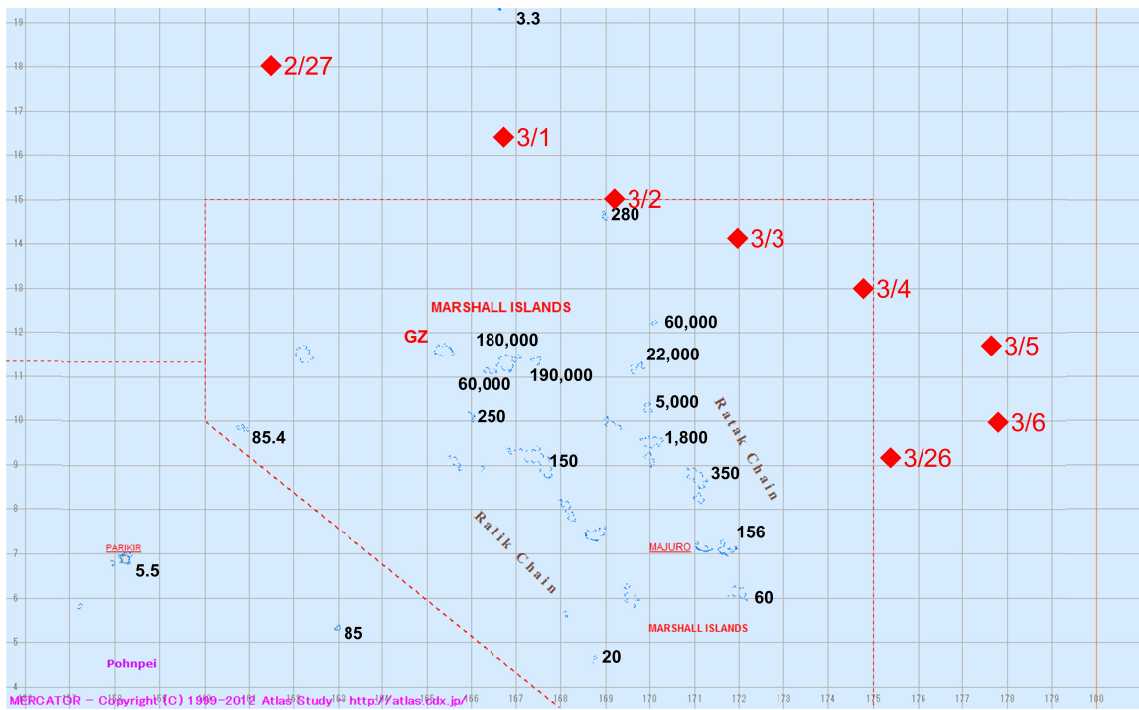


(d) 第十三光荣丸

図5 ( 続き )



(e) 第七大丸

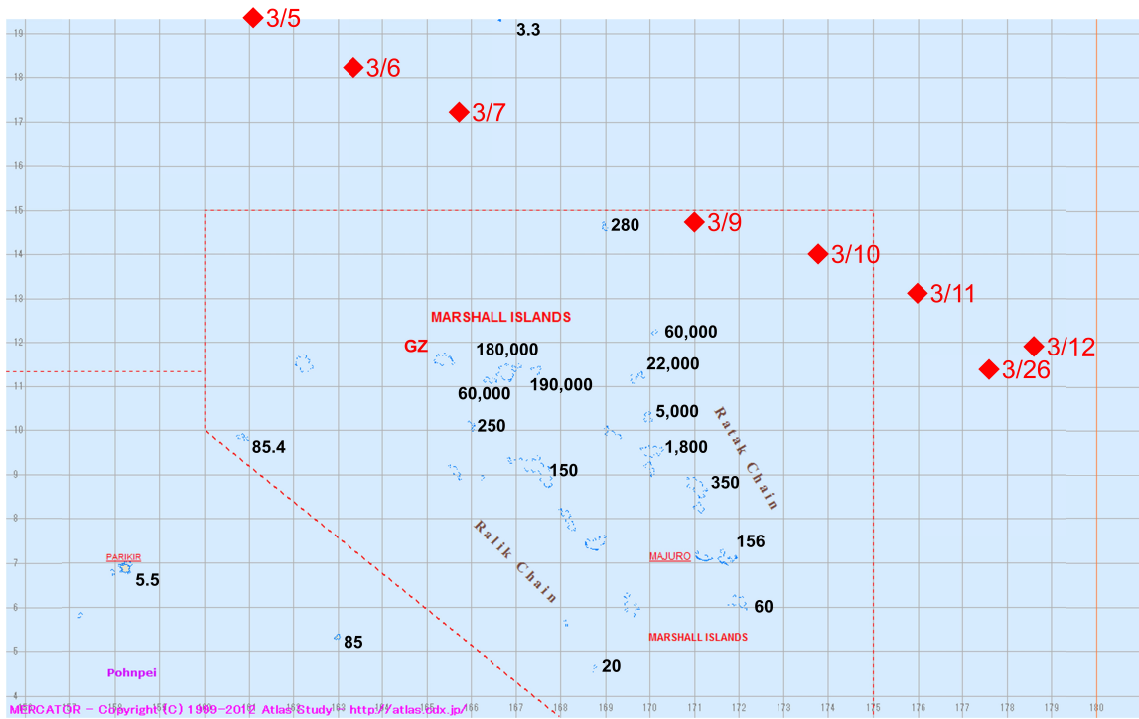


(f) 第十一高知丸

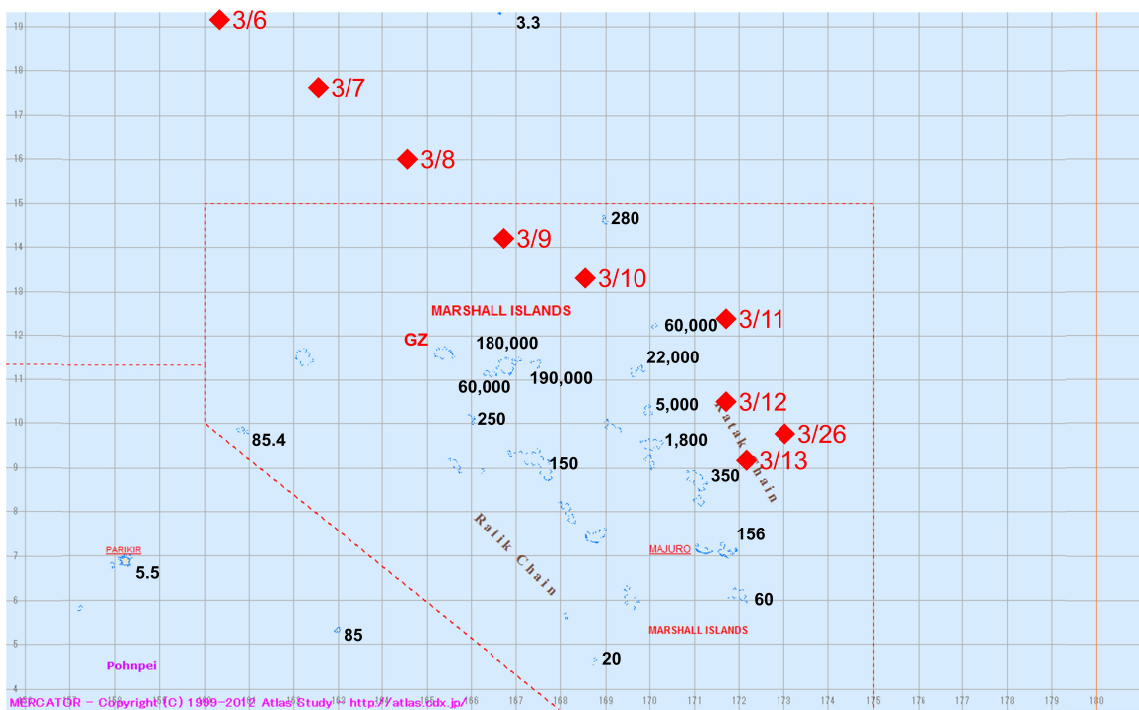
図5 (続き)





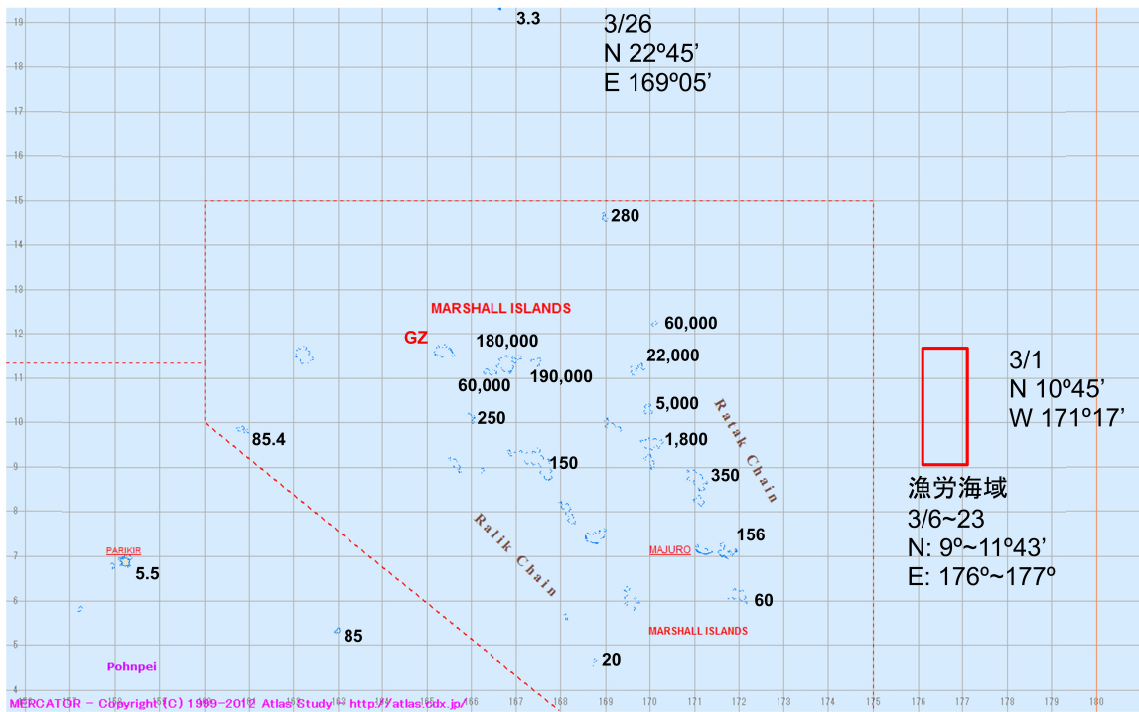


(i) 第十二宝幸丸



(j) 尾形海幸丸

図5 (続き)



(k) 第十宝成丸

(注：漁労期間中に漁労海域の北西端に滞在し続けたと仮定して線量を推計した。)

図5 (続き)